

令和元年度 上下水道部の「実行宣言」

作成者 (評価者)	上下水道事業管理者	西川昌宏
--------------	-----------	------

基本方針と使命
<p>上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため公共下水道の整備に取り組みます。</p> <p>水道事業においては、施設等の老朽化、耐震化工事を計画的に進めるとともに、経営基盤の強化に努めます。</p> <p>下水道事業においては、公共下水道の整備を計画的・効率的に進めるとともに、市街地の浸水対策事業の実施に努めます。</p>

『松阪市総合計画』 との関わり	5 安全・安心な生活（防犯・防災）
	6 快適な生活（生活基盤の整備）

平成30年度の評価			
評価基準…S（100%以上）、A（90~99%）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）			
宣言①	床上浸水ゼロ（名古須川流域）の事業計画の確定に努めます。	評価	S
<p>【評価理由】</p> <p>松阪市内4河川流域（三渡川、百々川、名古須川、愛宕川）における浸水対策についての対策実施計画書（案）がまとまり、名古須川の改修計画の確定に努めました。</p>			
<p>【対応方針】</p> <p>一過性の目標ではないため、引き続きS評価を維持できるよう取組を続けていきます。</p>			
宣言②	公共下水道（汚水）の普及促進と計画区域見直しに努めます。	評価	S
<p>【評価理由】</p> <p>公共下水道（汚水）の普及促進については、平成30年度に61.2haの供用を開始し普及率が57.2%となり目標を達成しました。また、計画区域見直しについては、市街化調整区域957.6haを区域から外し、全体計画区域面積を4583.0haから3625.4haに見直しました。</p>			
<p>【対応方針】</p> <p>一定水準まで達したため、当該宣言は完了とし、今年度以降は新たな宣言します。</p>			
宣言③	基幹管路の耐震化と老朽管路の更新に努めます。	評価	S
<p>【評価理由】</p> <p>基幹管路の耐震化については、平成29年度末の耐震適合率35.1%を平成30年度末では36.7%に引き上げました。また、1,160mの整備目標であった老朽管路の更新については1,167mの整備を行いました。</p>			

【部局長シート】

【対応方針】 一過性の目標ではないため、引き続きS評価を維持できるよう取組を続けていきます。											
宣言④		上下水道事業の安定経営と料金収納率の確保に努めます。							評価	S	
【評価理由】 水道事業については、経常収支比率、営業収支比率ともに健全な値の維持に努め、公共下水道事業については、整備面積の拡大のほか大型団地への接続など収入増に努めました。また、料金収納率は99.45%（3月末時点）となり、高水準の料金収納率を維持できる見込みです。											
【対応方針】 一過性の目標ではないため、引き続きS評価を維持できるよう取組を続けていきます。											
部局マネジメント方針											
災害に備えたマニュアルの周知と訓練								評価	B		
事業の進捗管理と課題解決に向けた所属長会議の開催								評価	A		
安定経営を目指した水道事業基本計画の策定（平成30～31年度）								評価	A		
工事担当者による設計プレゼンテーションの実施（部内の決裁権者対象）								評価	S		
ワーク・ライフ・バランスを意識した職場環境の継続								評価	A		
『松阪市総合計画』関係施策の進捗度											
関係 施策 1	施策番号		施策名								
	5 - ⑥		浸水対策の充実								
	指 標 ①	評価指標	雨水排水施設（宮町・沖ス・大口ポンプ場）事業進捗率								
		目 標/実 績	平成30年度						令和元年度		
			目標	52.1%	実績	48.0%	評価	A	目標	60.0%	
対応方針		目標達成に向け、引き続き事業促進に努めます。									
関係 施策 2	施策番号		施策名								
	6 - ⑦		上下水道の整備								
	指 標 ①	評価指標	基幹管路の耐震適合率								
		目 標/実 績	平成30年度						令和元年度		
			目標	36.7%	実績	36.7%	評価	S	目標	37.0%	
	対応方針		目標は達成しているが、今後も計画通りに整備を進めます。								
	指 標 ②	評価指標	下水道普及率								
		目 標/実 績	平成30年度						令和元年度		
			目標	57.1%	実績	57.2%	評価	S	目標	58.0%	
	対応方針		目標は達成しているが、今後も計画通りに整備を進めます。								
指 標 ③	評価指標	水洗化率									
	目 標/実 績	平成30年度						令和元年度			
		目標	78.6%	実績	78.5%	評価	A	目標	80.0%		
対応方針		目標達成に向け、引き続き水洗化啓発に努めます。									

【部局長シート】

指 標 ④	評価指標	上水道の整備に対する市民満足度							
	目標/実績	平成30年度						令和元年度	
		目標	-	実績	-	評価	-	目標	3.6 / 5
対応方針	市民満足度が評価できる市民アンケート等の項目に掲げます。								



令和元年度 「実行宣言」	
宣言①	水道事業基本計画・水道ビジョンの策定に努めます。
宣言②	床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて詳細設計を進めます。
宣言③	基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。
宣言④	公共下水道（汚水）の普及促進に努めます。
宣言⑤	上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。
部局マネジメント方針	
災害時における対応訓練を実施します。	
業務の進捗管理と課題解決に向けた所属長会議の開催に努めます。	
担当職員による設計プレゼンテーションを実施します。	
ワーク・ライフ・バランスを意識した職場環境の改善に取り組みます。	

【課長シート】

組織名	上下水道部	作成者（評価者）	上下水道事業管理者 西川昌宏
関係する「実行宣言」	平成30年度	床上浸水ゼロ（名古屋川流域）の事業計画の確定に努めます。	
		公共下水道（汚水）の普及促進と計画区域見直しに努めます。	
		基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます	
		上下水道事業の安定経営と料金収納率の確保に努めます。	
	令和元年度	水道事業基本計画・水道ビジョンの策定に努めます。	
		床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて詳細設計を進めます。	
		基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。	
		公共下水道（汚水）の普及促進に努めます。	
上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。			
関係する『総合計画』施策	5－⑥ 浸水対策の充実		
	6－⑦ 上下水道の整備		
課の基本方針と使命			
<p>上下水道部は、市民生活に欠かすことのできない水道水の安定供給、また快適な住環境の維持・改善のため下水道の整備に取り組みます。</p> <p>水道事業においては、水道管路や施設等の老朽化に対応するために計画的な更新工事の実施と危惧される震災に備えた耐震化工事に努めるとともに経営基盤の強化に努めます。</p> <p>下水道事業においては、計画的かつ効率的な公共下水道の整備に努めるとともに、市街地の浸水被害の軽減に向けた事業の実施に努めます。</p>			

平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業繰出金では、平成30年10月からの隔月検針、隔月請求の実施により月額約700万の費用の削減ができました。 ・都市下水路管理運営事業費、都市下水路整備事業費及びポンプ場施設長寿命化事業については、大きなトラブルもなく、大雨や台風時に浸水被害を防ぎました。 ・管路新設事業、老朽施設更新事業、老朽管更新事業、その他水道事業会計全事業費については、水道水の安定供給が概ね達成できました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高須公園多目的広場施設管理事業費および高須公園多目的広場施設整備事業については、過去の実績をベースに年間利用者を1,500人に目標設定しましたが、毎年、冬場を実施するグランド整地のほかに今年度は、フェンスの改修工事が例年利用者が増える時期と重なりグランドが使えない状態となったため、年間利用者は目標を300人下回る1,200人となり目標達成には至りませんでした。 ・関連公共下水道事業、中勢沿岸流域下水道事業松阪処理区（負担金）については、工事施工に当たり関係者との調整に不測の日数を要した等の理由により、年度内での完成が見込めなくなったことから、繰越工事が発生し、目標とする汚水整備面積79.5haを18.3ha下回る61.2haとなり目標達成には至りませんでした。

【上下水道部】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	水道事業会計繰出金	一般	6-⑦	114,440	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。		→ 現状維持	105,617	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						①110% ②100%	①104.7% ②100.3%				A				
2	都市下水道管理運営事業費	一般	5-⑥	130,904	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水道等の維持管理		→ 現状維持	130,904	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水道等の維持管理		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						発生ゼロ	発生ゼロ				S				
3	都市下水道施設整備事業費	一般	5-⑥	15,550	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理		→ 現状維持	12,700	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						発生ゼロ	発生ゼロ				S				
4	ポンプ場施設長寿命化事業費	一般	5-⑥	252,150	/	長寿命化計画達成率 (対策済みのポンプ場/対策すべきポンプ場)		→ 現状維持	15,567	/	長寿命化計画達成率 (対策済みのポンプ場/対策すべきポンプ場)		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						41.3%	45.0%				S				
5	公共下水道事業会計繰出金	一般	6-⑦	2,935,404	/	①雨水対策（床上浸水ゼロ）事業計画（名古屋川）の実施 ②下水道普及率 ③汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）		→ 現状維持	2,948,356	/	①雨水対策（床上浸水ゼロ）詳細設計（愛宕川）の実施 ②下水道普及率 ③汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						①今年度中 ②57.1% ③79.5ha	①今年度中 ②57.2% ③61.2ha				A				
6	高須町公園多目的広場施設管理事業費	一般	6-⑦	2,500	/	施設の年間利用者数		→ 現状維持	3,000	/	施設の年間利用者数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1,500人	1,200人				B	300人			

【上下水道部】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針
7	高須町公園多目的広場施設整備事業費	一般	6-⑦	2,600	/	施設の年間利用者数			→ 統合	-	/	※高須町公園多目的広場施設管理事業費へ統合			/
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1,500人	1,200人	B				-	-	-	
8	朝見簡易水道管理事業費	特別	6-⑦	5,381	/	水質基準値適合率			→ 現状維持	5,393	/	水質基準値適合率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
9	ポンプ場築造事業費	企業	5-⑥	75,100	/	築造計画達成率 (築造済みのポンプ場/築造すべきポンプ場)			→ 現状維持	282,000	/	築造計画達成率 (築造済みのポンプ場/築造すべきポンプ場)			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						48.4%	49.5%	S				65.6%			
10	管路新設事業	企業	6-⑦	80,000	/	配水支管の整備延長			→ 現状維持	75,000	/	配水支管の整備延長			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1,000m	1,034m	S				600m			
11	老朽施設更新事業	企業	6-⑦	13,000	/	老朽化を原因とするトラブル発生件数			→ 現状維持	102,250	/	老朽化を原因とするトラブル発生件数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						発生ゼロ	発生ゼロ	S				発生ゼロ			
12	老朽管更新事業	企業	6-⑦	829,600	/	基幹管路の整備延長			→ 現状維持	1,103,700	/	基幹管路の整備延長			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1,160m	1,167m	S				370m			
13	その他水道事業会計全事業費	企業	6-⑦	3,441,766	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。			→ 現状維持	3,452,855	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						①110% ②100%	①104.7% ②100.3%	A				①110% ②100%			

【上下水道部】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度													
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針						
14	関連公共下水道事業	企業	6-⑦	2,466,000	/	①下水道普及率			→ 現状維持	2,451,480	/	①下水道普及率			→ 現状維持						
						②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）						②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）									
						目標	実績	評価				目標	実績	評価							
						①57.1%	①57.2%	B				①59.0%									
			②79.5ha	②61.2ha			②57.5ha														
15	関連公共下水道事業	企業	6-⑦	15,000	/	①下水道普及率			▶ 統合	-	/	※関連公共下水道事業へ統合			/						
						②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）						目標				実績			評価		
						①57.1%	①57.2%	B				-	-	-							
						②79.5ha	②61.2ha														
16	中勢沿岸流域下水道事業 松阪処理区（負担金）	企業	6-⑦	94,782	/	①下水道普及率			→ 現状維持	200,836	/	①下水道普及率			→ 現状維持						
						②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）						②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）									
						目標	実績	評価				目標	実績	評価							
						①57.1%	①57.2%	B				①59.0%									
			②79.5ha	②61.2ha			②57.5ha														
17	関連公共下水道事業（三雲）	企業	6-⑦	203,000	/	①下水道普及率			▶ 統合	-	/	※関連公共下水道事業へ統合			/						
						②汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）						目標				実績			評価		
						①57.1%	①57.2%	B				-	-	-							
						②79.5ha	②61.2ha														